

事業分析 タイプC	
所管局	教育委員会事務局
事業番号	56
事業名	高等学校

高等学校の現状と課題

【現状】

本市高等学校の歩み

1900（明治33）年の「大阪府教育十カ年計画」の策定以降、大阪府は中学校、大阪市は実業学校という旧制中等学校設置経営の分担が長く続いた。大阪市の立の高等学校は、市民の実学を重んじる精神に支えられながら、職業教育の充実に力を入れ、有為な人材を輩出し、市民の信託に应运ってきた。なお、新制高等学校発足以降の卒業生総数は約36万人である。

本市高等学校の特色化

本市の高等学校は、意欲的で目的意識の明確な生徒の入学により学校が活性化することをねらいとして、全国に先駆けて特色ある高等学校づくりを進め、1980（昭和55）年度の体育科をはじめ、英語科、理数科等を設置してきた。なお、商業系の専門学科については、府内では本市以外にほとんど設置されていない。

本市高等学校の将来構想

「大阪市立高等学校将来構想委員会最終まとめ」（2004年3月）において、中高一貫教育校、高度な専門性を有する商業高校、リカレント教育にも対応でき、工業の幅広い分野が朝から夜まで学べる総合技術高校を設置し、本市高等学校の一層の魅力化、特色化を進めるようにとの提言を得ている。

【課題】

生徒の興味・関心・進路希望等の多様化や社会の変化に積極的に対応するため、「大阪市立高等学校将来構想委員会最終まとめ」の提言に示されている中高一貫教育校・高度な専門性を有する商業高校・リカレント教育にも対応でき、工業の幅広い分野が朝から夜まで学べる総合技術高校の設置など一層の特色ある学校づくりに取り組んでいく。現在、23校の高等学校を今後10年を目途に18校程度に再編統合する。

事業分析 タイプC	
所管局	教育委員会事務局
事業番号	56
事業名	高等学校

事業分析(経過報告)

高等学校

2005年10月

教育委員会事務局

1

高等学校の事業分析にかかる資料

1. 本市の高等学校の歩み
2. 本市の高等学校数の推移
3. 本市の高等学校数
4. 本市の高等学校の特色化
5. 将来構想
6. 本市高等学校の将来構想
7. 2005年度府内高等学校数の設置者別割合
8. 2005年度高等学校学科別生徒数の割合
9. 府内工業系公立高等学校の生徒数の割合
10. 府内商業系公立高等学校の生徒数の割合
11. 2005年度公立高等学校数
12. 2005年度設置者別高等学校生徒数
13. 2005年度教職員数
14. 2005年度教職員人件費予算額
15. 2005年度生徒1人あたりの教職員費
16. 本市高等学校における教育費の総額
17. 本市高等学校の生徒1人あたりの教育費
18. 2004年度生徒1人あたりの教育費
19. 入学者選抜競争率推移
20. 公立高等学校入学者選抜における本市高等学校の募集学級数の割合
21. 本市高等学校における市内中学校卒業者の割合
22. 2005年度授業料減免率
23. 日本スポーツ振興センターへの届出災害の被災率
24. 本市高等学校卒業生進路状況(全日制)
25. 経営体制と今後の課題

2

1. 本市の高等学校の歩み

大阪市立の高等学校は、市民の実学を重んじる精神に支えられながら、職業教育の充実に力を入れ、有為な人材を輩出し、市民の信託に应运ってきた。

1900（明治33）年の「大阪府教育十ヵ年計画」の策定以降、大阪府は中学校、大阪市は実業学校という旧制中等学校設置経営の分担が長く続く。

1948（昭和23）年新制高等学校発足時、大阪市立の高校は30校、府立高校44校。

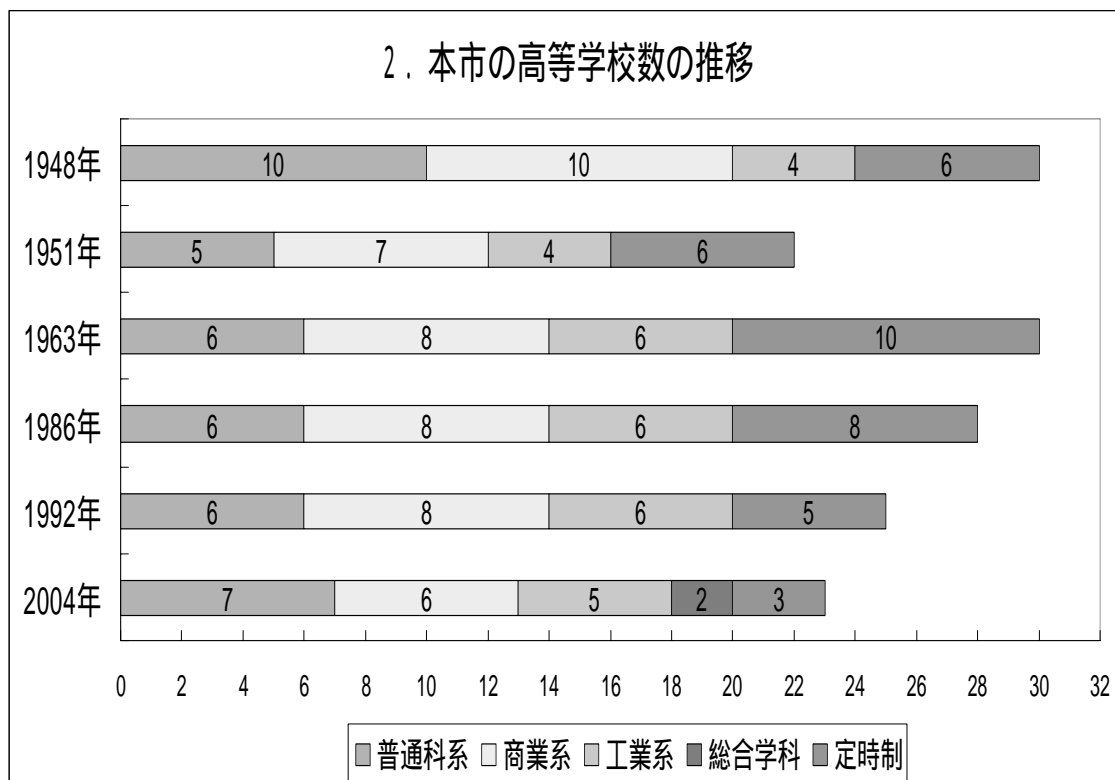
新制高等学校発足以降の卒業生総数は約36万人。

本市高等学校の3分の2は商業、工業などの実業高校で、産業社会を支える専門的な知識・技術と実践力を身につけた事務従事者、中堅技術者の育成に努めている。

明治・大正期より大阪市の地域性に立脚し、市民の要望に応えるために歩んできた中等教育を受け継いだ学校が多い。（現在の23校中12校）

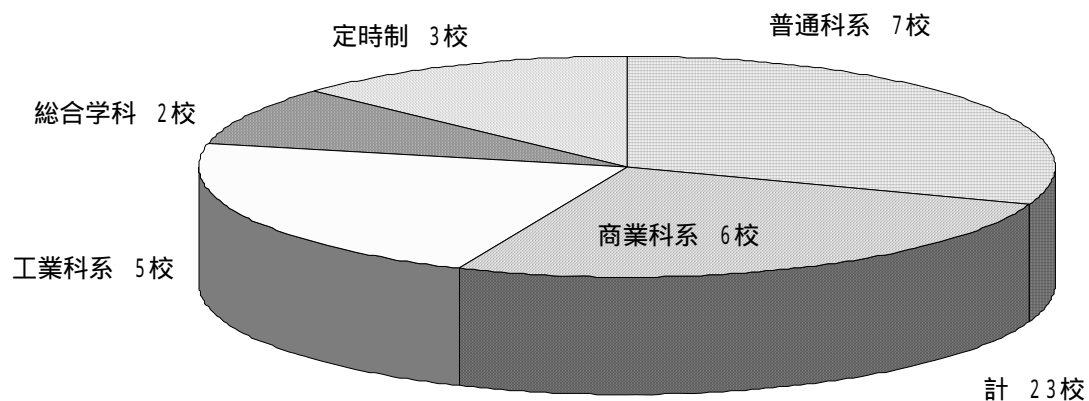
3

2. 本市の高等学校数の推移



4

3.本市の高等学校数



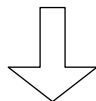
- ・普通科系とは、英語科・国語科・人文学科・理数科・体育科等
- ・商業科系とは、流通経済科・国際経済科・総合ビジネス科・会計科等
- ・工業科系とは、機械科・電気科・建築科・情報科学科等

5

4.本市の高等学校の特色化

本市の高等学校は、意欲的で目的意識の明確な生徒の入学により学校が活性化することをねらいとして、1980（昭和55）年度から全国に先駆けて特色ある高等学校づくりを進めてきた。

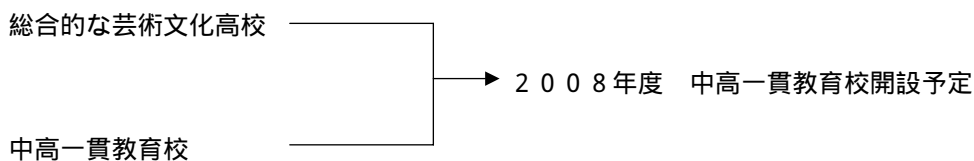
基本的な視点 社会の変化に対応する教育
 豊かな人間性を培う教育
 多様な学習ニーズや進路希望に応える教育



↓	1980	府内公立初	体育科設置
	1988	府内公立初	英語科設置
	1991	全国初	国語科設置
		府内公立初	理数科設置
	1992	府内公立初	人文学科設置
		府内公立初	単位制高校設置
	1993	全国初	武道科(スポーツ)設置
	2003	府内公立初	福祉ボランティア科設置

6

5. 将来構想



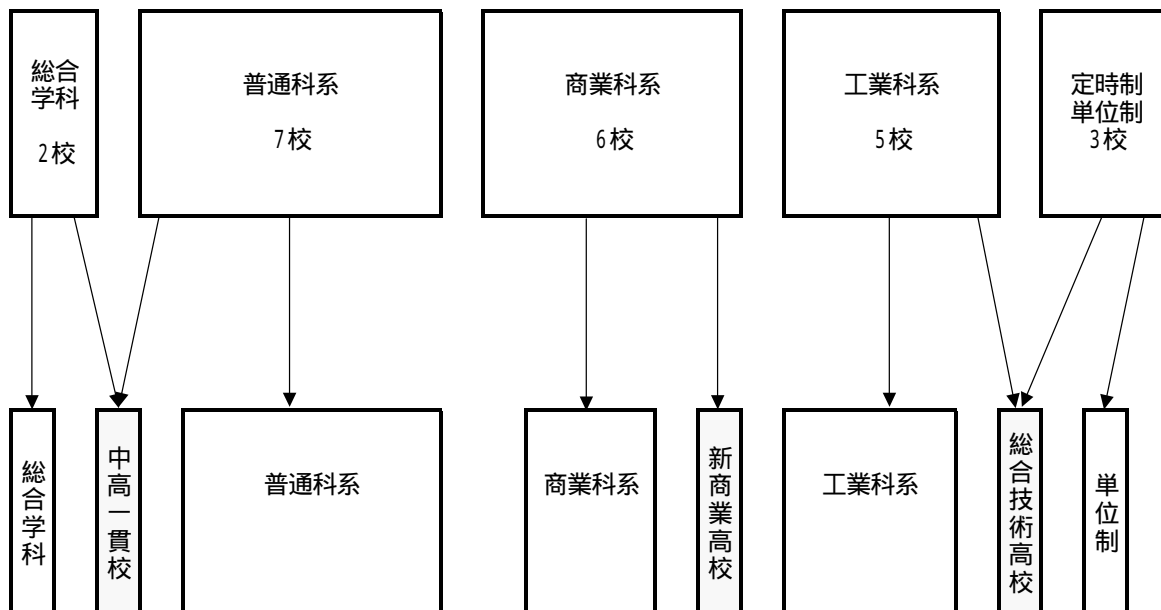
高度な専門性を有する商業高校 → 商業高校の再編統合により実現をめざす

総合技術高校 → 全日制工業高校と定時制工業高校の再編統合により実現をめざす
(リカレント教育にも対応でき、工業の幅広い分野が朝から夜まで学べる定時制・単位制の工業高校)

「大阪市教育改革プログラム」(2002年2月)、
 大阪市立高等学校将来構想委員会「最終まとめ」(2004年3月)、
 大阪市中高一貫教育研究会議「最終まとめ」(2004年3月)による。

6. 本市高等学校の将来構想

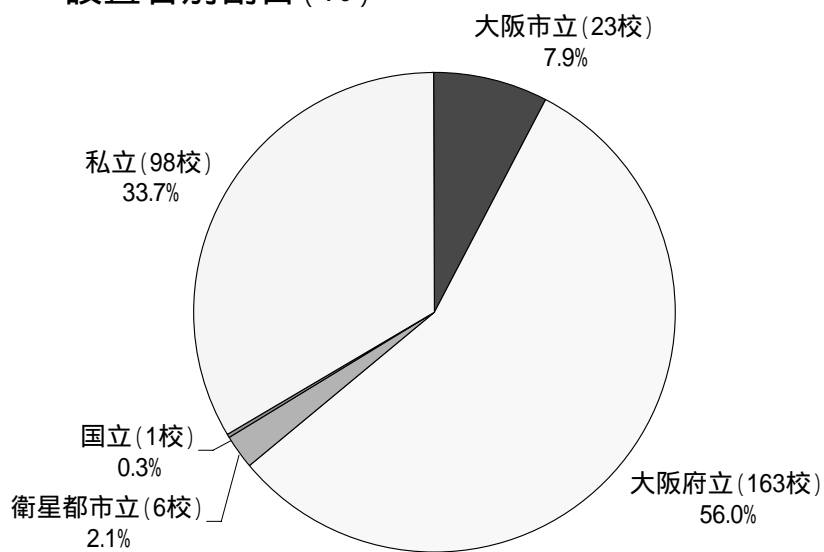
・2005年度(総計23校)



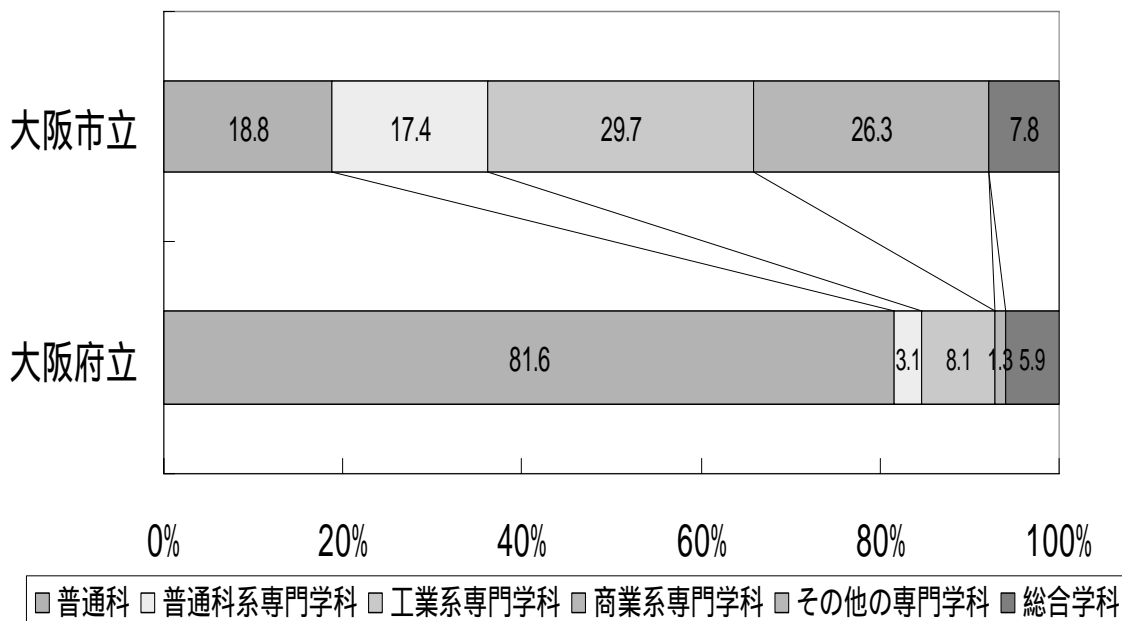
・将来像(総計18校程度)

7. 2005年度 府内高等学校数の設置者別割合 (%)

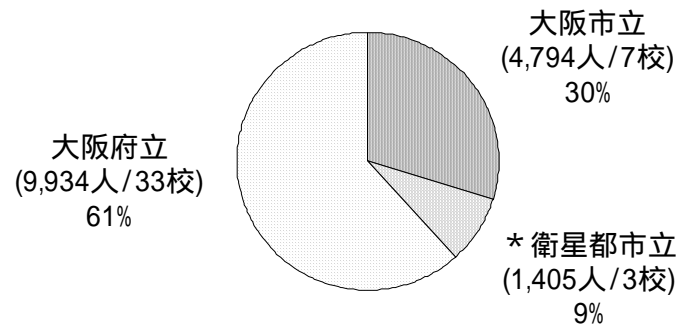
・本市は、商業系、工業系高等学校の割合が高い
 ・府立および私立は、普通系高等学校の割合が高い



8. 2005年度 高等学校学科別生徒数の割合 (%)

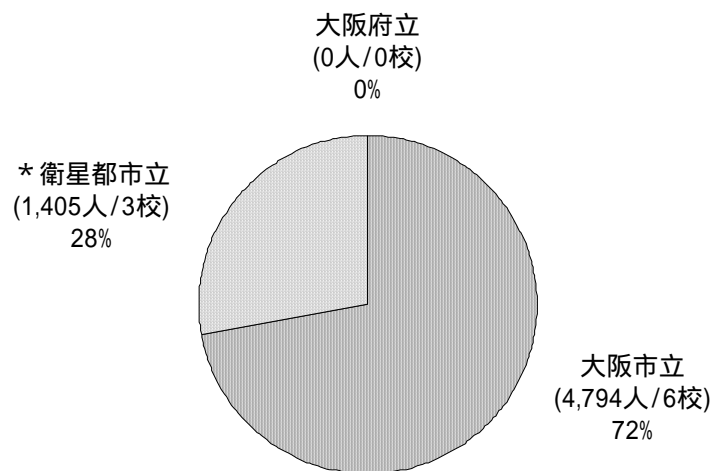


9. 府内工業系公立高等学校の生徒数の割合



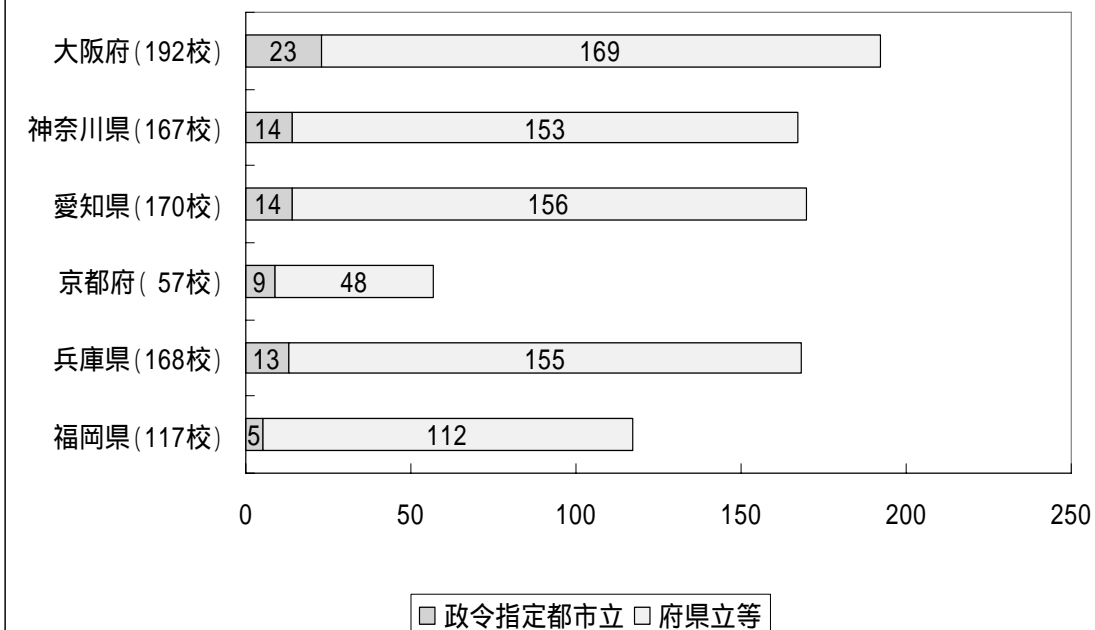
* 東大阪市立・堺市立・岸和田市立

10. 府内商業系公立高等学校の生徒数の割合

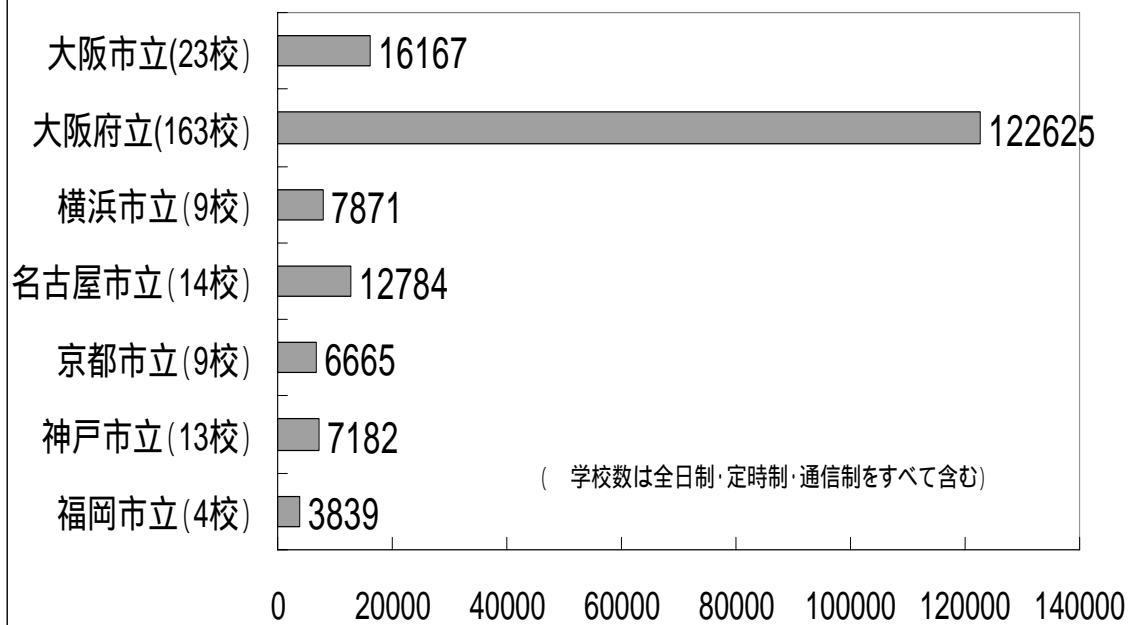


* 東大阪市立・堺市立・岸和田市立

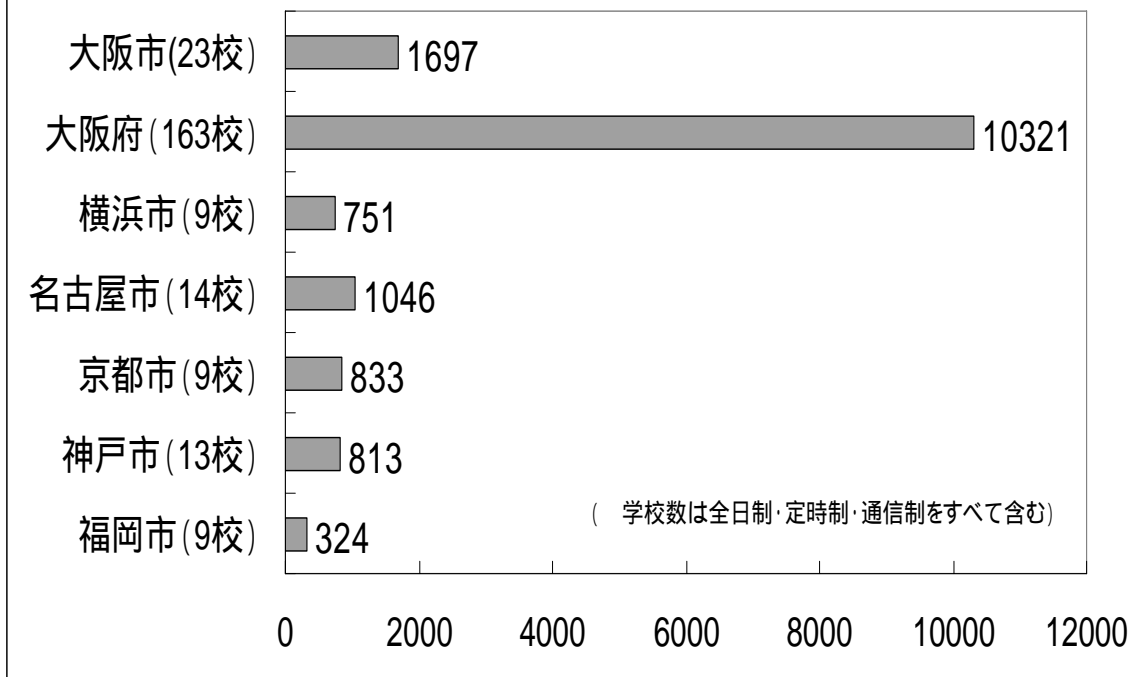
11. 2005年度 公立高等学校数



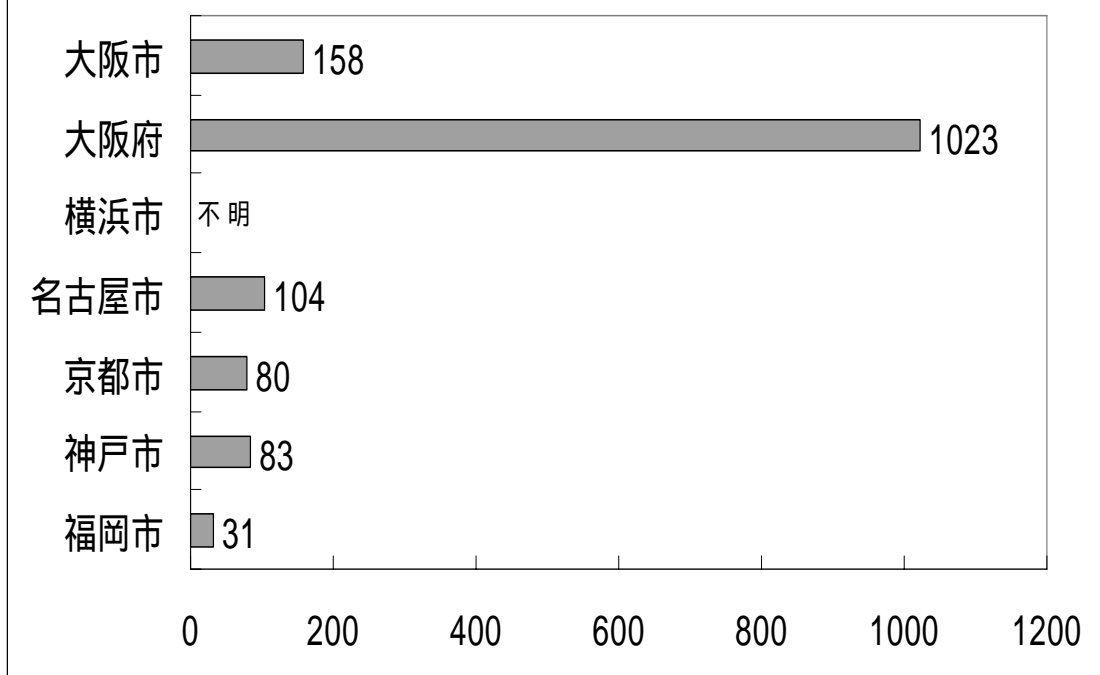
12. 2005年度 設置者別高等学校生徒数

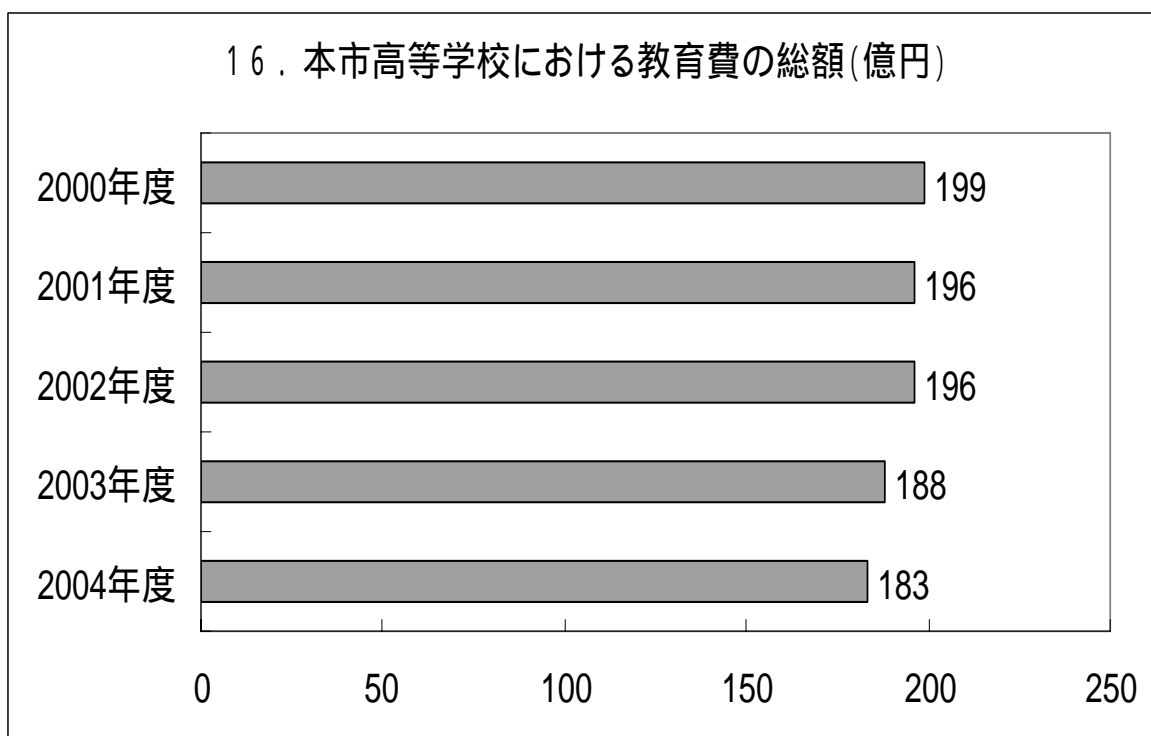
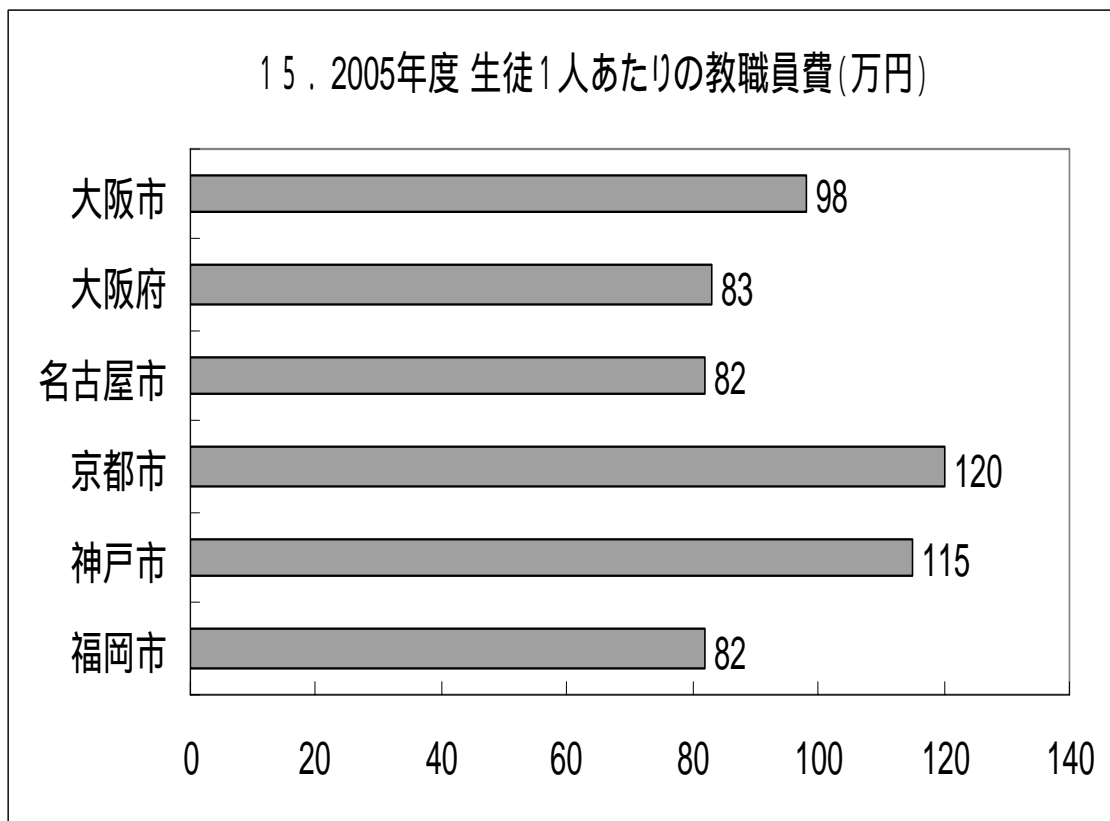


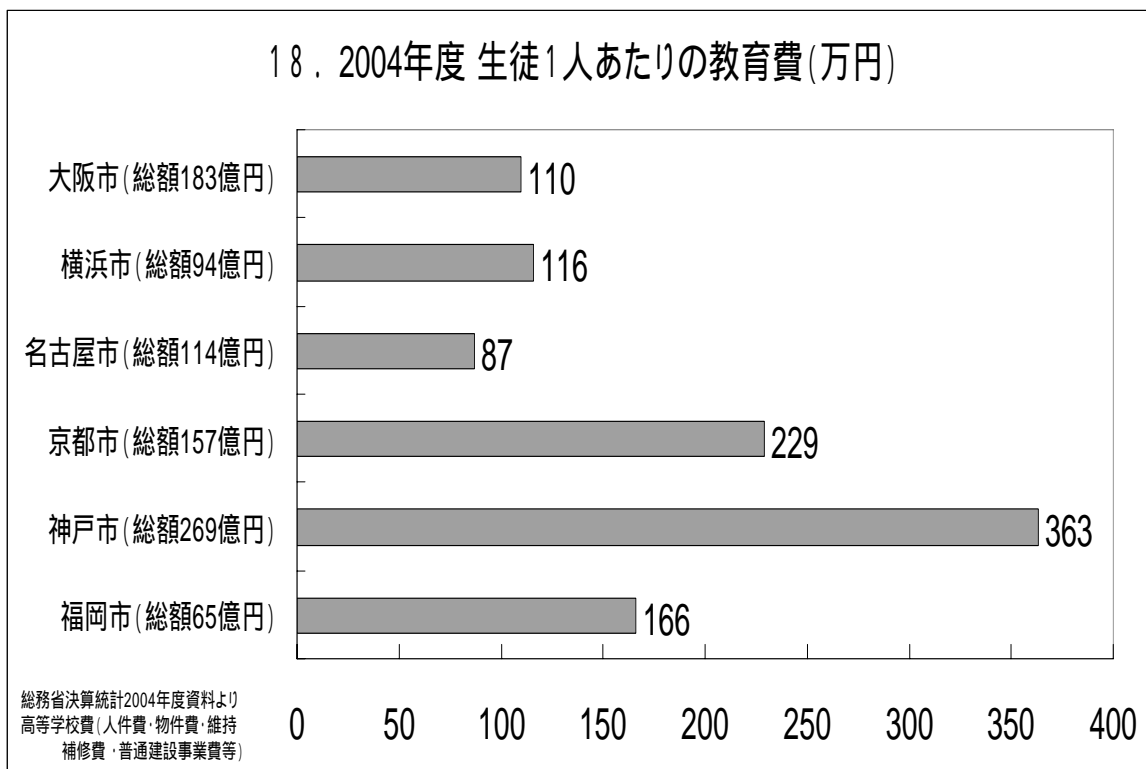
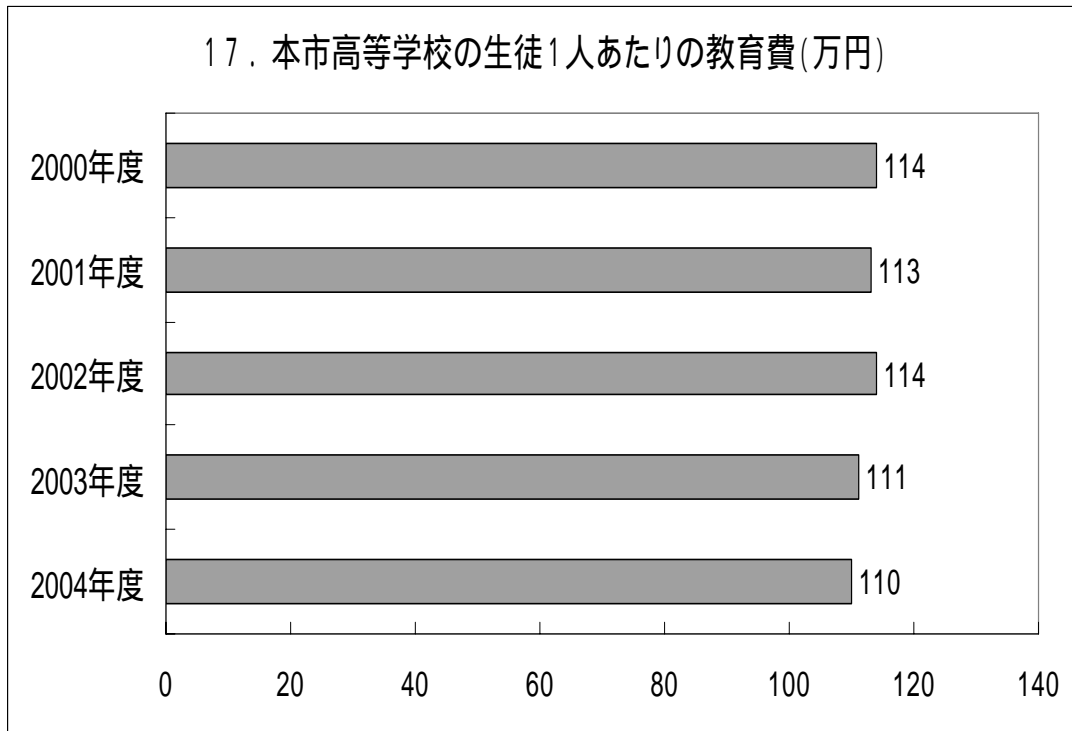
13. 2005年度 教職員数



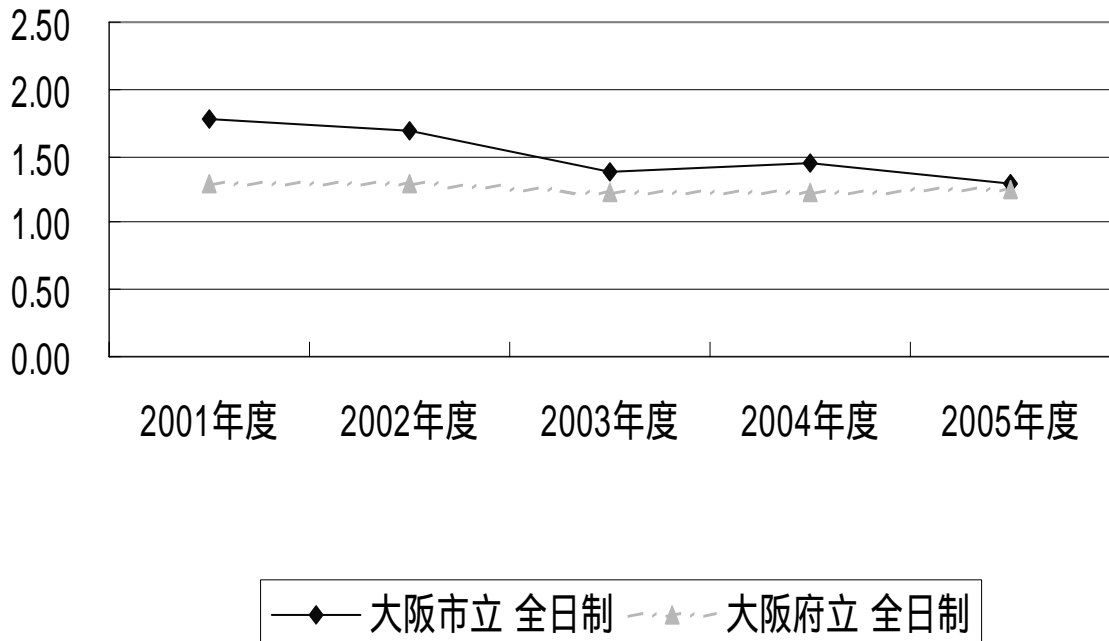
14. 2005年度 教職員人件費予算額(億円)





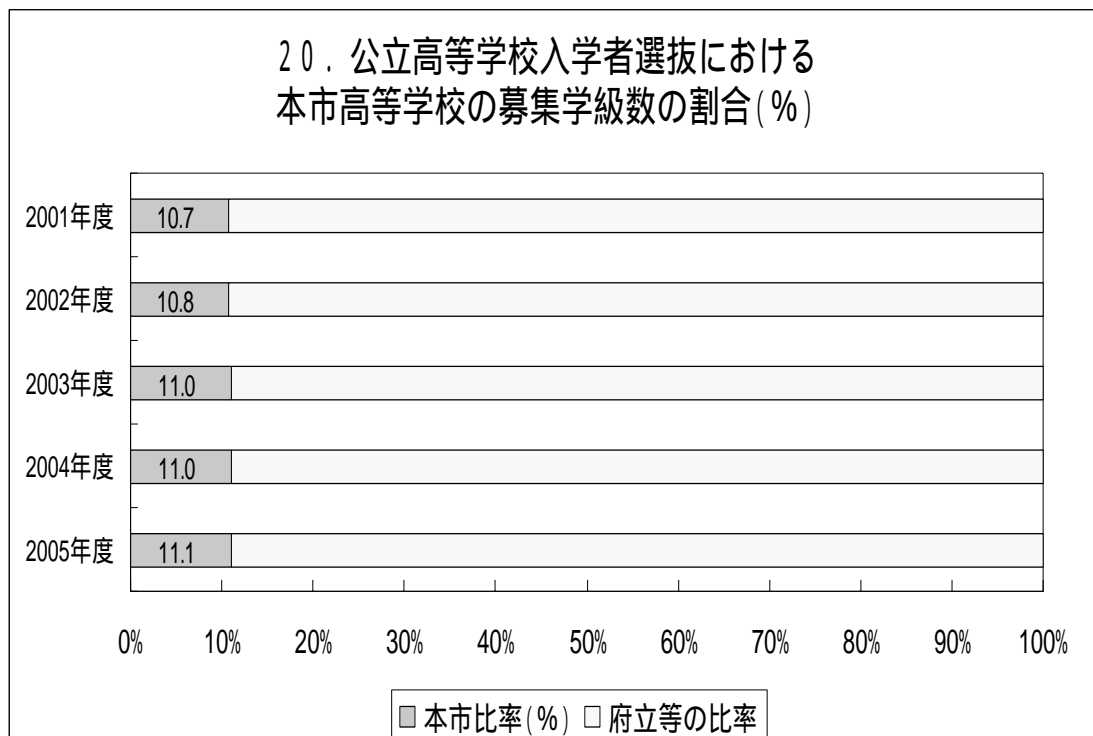


19. 入学者選抜競争率推移



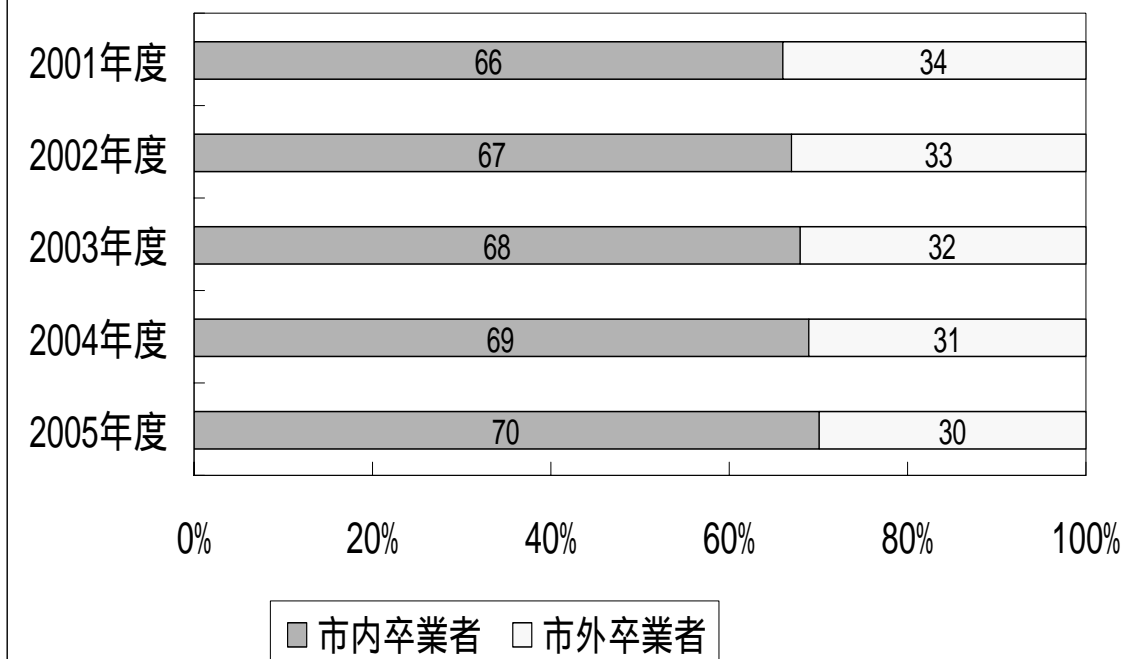
21

20. 公立高等学校入学者選抜における 本市高等学校の募集学級数の割合 (%)



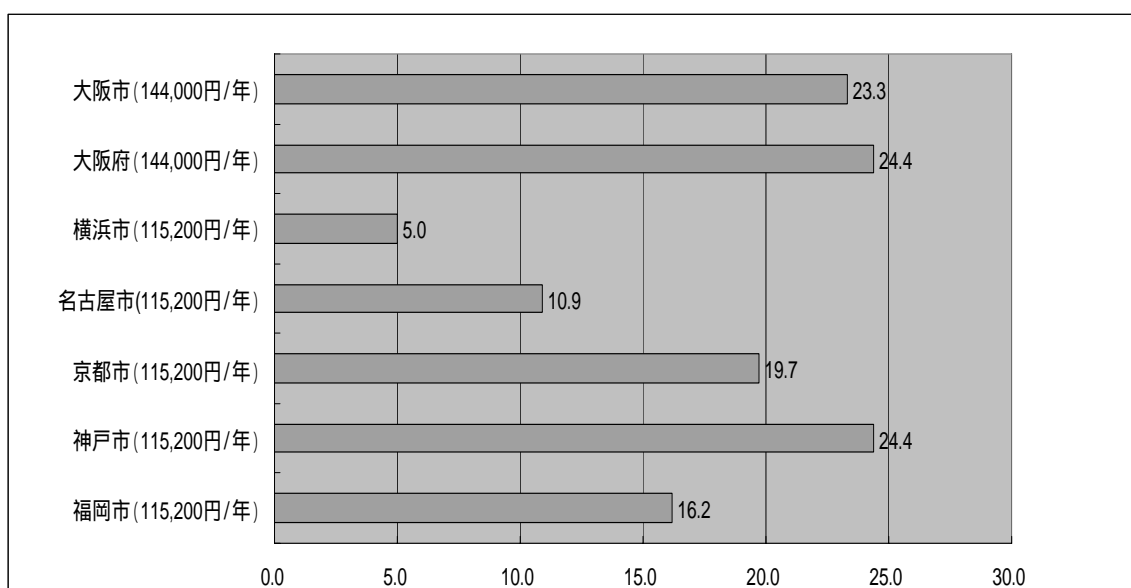
22

21. 本市高等学校における市内中学校卒業者の割合 (%)



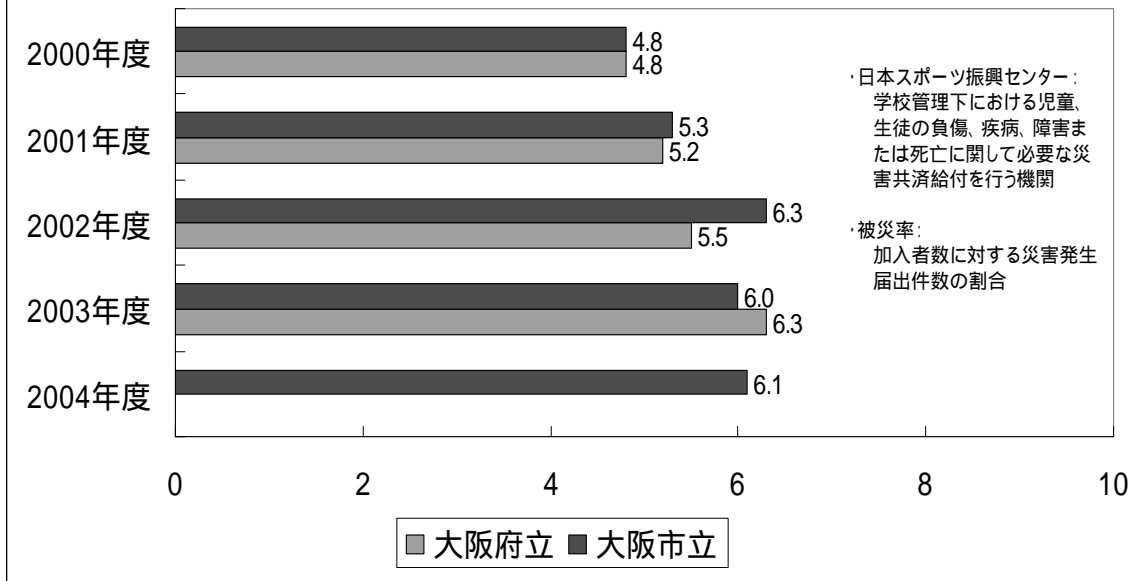
23

22. 2005年度 授業料減免率 (%)

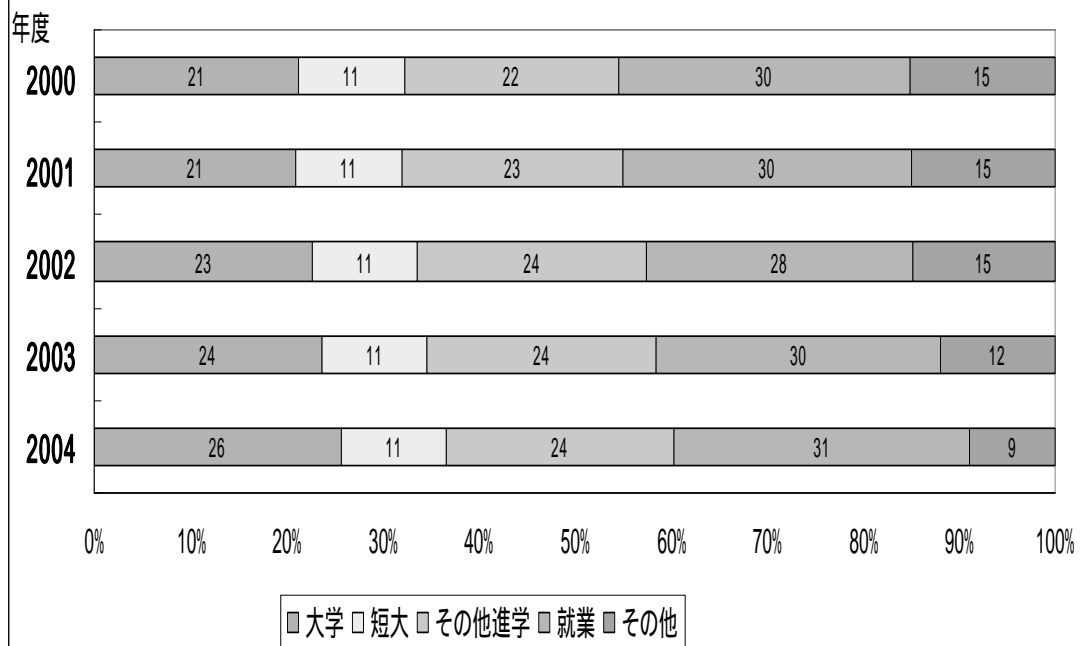


24

23. 日本スポーツ振興センターへの届出災害の被災率(%)



24. 本市高等学校卒業生進路状況(全日制)



25. 経営体制と今後の課題

現在、23校の高等学校を今後10年を目途に18校程度に再編統合する。

生徒の興味・関心・進路希望等の多様化や社会の変化に積極的に対応するため、「大阪市立高等学校将来構想委員会最終まとめ」の提言に示されている中高一貫教育校・高度な専門性を有する商業高校・リカレント教育にも対応でき、工業の幅広い分野が朝から夜まで学べる総合技術高校の設置など一層の特色ある学校づくりに取り組んでいく。

これまで市民の実学を重んじる精神に支えられた職業教育に取り組んできた歴史的経過も踏まえ、地元大学や企業等との提携を密にして、本市の将来を担う人材育成に主体的に取り組んでまいりたい。したがって、経営体制については、引き続き本市で高等学校の設置及び運営を行っていく。